

しさをのこり
宍粟郡を巡る⑧
「播磨国風土記」の世界
鉄(まがね)の話

天日槍命と葦原志挙乎命との国占め争いが行われた里のひとつ、柏野里は、宍粟市千種町から山崎町土万、加生あたり、お隣の佐用町の一部も含む地域と考えられています。この里に「敷草の村」という村がありました。比定地は千種町で、村名は草を敷いて神様が座る場所を作ったことに由来します。ここでの神様は、葦原志挙乎命、あるいは天日槍命と考えられます。

ところで、この村には注目すべき産物がありました。「鉄を生ず」、つまり、鉄を産出したのです。御方里を流れる金内川も鉄が出たと記されていますが、現在のどの川に当たるかははっきりしません。宍粟市北部は、近代まで、砂鉄を原料とす

るタタラ製鉄が盛んに行われてきました。一宮町安積では、平安時代終わり頃の大規模な製鉄遺跡、安積山タタラ遺跡が見つかったいます。戦国時代まで活躍する安積氏は、この鉄によって勢力を伸ばしたとか。

また、千種町では、江戸時代、大規模なタタラ製鉄が行われていました。「千種鉄」「宍粟鉄」ともてはやされ、同町には「鉄穴流し」の跡がいくつも残っています。千種町西河内(天児屋)鉄山では、最盛期、六千人の人が暮らしていました。彼らが製鉄の神として祀った「金屋子神」、この神が降臨したとされるのが、千種町岩野辺です。風土記の柏野里に載る、「飯戸草」



▲天児屋たたら公園にある「たたら里学習館」内部



▲千種町岩野辺の金屋子神降臨地碑

にあたるともいわれています。国占めをした神様がご飯を炊いたことが、その地名由来。丘の形も、竈などご飯を炊く道具に似ていると記されています。

風土記でもう一箇所、鉄に関する記述が出てくるのが、讃容郡。佐用町の大撫山にあたる「鹿庭山」に十二の谷があり、どの谷からも鉄が出たとか。不思議な剣の話もあり、讃容郡では古くから製鉄が行われていたようです。渡来文化のひとつとされる製鉄、天日槍命伝承との関わりも指摘されており、宍粟市の古代史にとって重要なキーワードといえるでしょう。

(播磨学研究所研究員 埴岡真弓)

おいでよ図書館へ



宍粟市立図書館
☎ 62-4620

年末年始の休館日

12月28日(日)から

1月5日(月)まで

1月6日(火)より開館します。



今月の
オススメ

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
よくばり裏技ガイド ハリポタ速報版
著者/USJ裏技調査隊

待ち時間短縮の基本テクニクや効率よく回れるコース紹介など、USJ攻略のツボが満載! 話題のハリ・ポッターエリアの情報も詳しく載っています。



面白江戸アートギャラリー
江戸の十二支どうぶつえん
著者/安村敏信

江戸の絵師達が描いた動物画の中から厳選された、十二支の画を紹介。江戸時代では動物達をどんな想いで見ていたのか、今と比較して見ても面白いです。

図書館カレンダー

□ 休館日 □ 館内整理日(休館)

【開館時間】午前10時～午後5時30分

日	月	火	水	木	金	土
	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

編集
後記

あっという間の1年でした。今月号では今年の「市政10大ニュース」を紹介しました。市政10大ニュースは市の関係職員の投票で決めさせていただきました。結果は30ページのとおりです。

“あと一步”だった項目には、山崎小学校新校舎竣工や総合病院院内託児所開園、千葉県匝瑳市との災害応援協定締結、まぼろしの湯100万人達成などがありました。

皆さんの“今年のニュース”は何が挙げられますか? (安)の最大のニュースは、広報の取材や撮影でいろんな所に行かせていただき、多くの人とお知り合いになれたことです(^_^)v 皆さんありがとうございました。

来年もよろしくお願いいたします。

(安)